

鹿児島工業高等専門学校	開講年度	令和03年度(2021年度)	授業科目	応用数学Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0110	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	電気電子工学科	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	後期:2	
教科書/教材	新 応用数学, 高遠節夫 他, 大日本図書／新 応用数学問題集, 高遠節夫 他, 大日本図書			
担当教員	中村 格			
到達目標				
微積分の考え方、論理的思考を取得する。更に、留数定理を用いた具体的な計算処理方法を修得する。以下に具体的な目標を示す。				
1. 正則関数、コーシーリーマンの関係式について説明できる。 2. 複素関数の指数関数、三角関数、対数関数、微分について計算することができる。 3. 複素積分の定義、コーシーの積分定理、コーシーの積分表示を説明できる。 4. 極、留数定理、留数定理の実績分への応用ができる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	正則関数、コーシーリーマンの関係式について詳しく説明できる。	正則関数、コーシーリーマンの関係式について説明できる。	正則関数、コーシーリーマンの関係式について説明できない。	
評価項目2	各種、複素関数の指数関数、三角関数、対数関数、微分について計算することができる。	基本的な複素関数の指数関数、三角関数、対数関数、微分について計算することができる。	複素関数の指数関数、三角関数、対数関数、微分について計算することができない。	
評価項目3	複素積分の定義、コーシーの積分定理、コーシーの積分表示を詳しく説明できる。	複素積分の定義、コーシーの積分定理、コーシーの積分表示を説明できる。	複素積分の定義、コーシーの積分定理、コーシーの積分表示を説明できない。	
評価項目4	各種問題において、極、留数定理、留数定理の実績分への応用ができる。	基本的な問題において、極、留数定理、留数定理の実績分への応用ができる。	極、留数定理、留数定理の実績分への応用ができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育プログラムの学習・教育到達目標 3-1 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 3-a				
教育方法等				
概要	微積分の考え方、論理的思考を取得する。更に、留数定理を用いた具体的な計算処理方法を修得する。			
授業の進め方・方法	予習・復習を徹底すること。教科書に沿って口頭と板書による解説を行い、内容の理解を確認する。加えて、ミニツッペーパーで振り返りを行い、また適宜グループ学習を行う。			
注意点	講義内容をよく理解するために教科書等を参考に50分程度の予習を行う事。また復習はその日の内に、全内容について50分以上行うこと。また、復習時によく考えた上で不明な点は、速やかに質問に来ること。			
授業の属性・履修上の区分				
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	1週	1. 複素数	<input type="checkbox"/> 共役複素数、極形式について解釈できる。	
	2週	2. 複素関数	<input type="checkbox"/> 複素関数の定義、性質・複素数の微分について解釈できる。	
	3週	3. 正則関数	<input type="checkbox"/> 正則関数、コーシーリーマンの関係式について解釈できる。	
	4週	4. 指数関数、三角関数	<input type="checkbox"/> 指数関数、三角関数について計算することができる。	
	5週	4. 指数関数、三角関数	<input type="checkbox"/> 指数関数、三角関数について計算することができる。	
	6週	5. 等角写像	<input type="checkbox"/> 等角性について解釈できる。	
	7週	6. 逆関数	<input type="checkbox"/> 初等関数、n値関数、無限多値関数について解釈できる。	
	8週	7. 複素積分	<input type="checkbox"/> 複素積分の定義、コーシーの積分定理、コーシーの積分表示を解釈できる。	
4thQ	9週	7. 複素積分	<input type="checkbox"/> 複素積分の定義、コーシーの積分定理、コーシーの積分表示を解釈できる。	
	10週	8. 関数の展開	<input type="checkbox"/> テイラーエンペーパー、ローラン展開を用いて計算できる。	
	11週	8. 関数の展開	<input type="checkbox"/> テイラーエンペーパー、ローラン展開を用いて計算できる。	
	12週	9. 留数定理	<input type="checkbox"/> 極、留数定理、留数定理の実績分への応用ができる。	
	13週	9. 留数定理	<input type="checkbox"/> 極、留数定理、留数定理の実績分への応用ができる。	
	14週	9. 留数定理	<input type="checkbox"/> 極、留数定理、留数定理の実績分への応用ができる。	
	15週	試験答案の返却・解説	試験において間違った部分を自分の課題として把握する（非評価項目）。	
	16週			
評価割合				
	試験	ミニツッペーパー	相互評価	合計
総合評価割合	70	30	0	100

基礎的能力	25	10	0	35
專門的能力	20	10	0	30
分野橫斷的能力	25	10	0	35